

「市民社会を創造する希望フォーラム」
＝一国だけでは脱原発はできません＝



東アジア脱核ネットワークづくり

～ 韓国脱原発ツアー報告会 ～

韓国では4地域に23基の原発があり、世界一の密度になっています。11月1日から5日まで共働 e-news では世古と土田がWCC(世界教会協議会、World Council of Churchesの略称)の脱核会議と原発現地での交流ツアーに参加してきました。今回はその報告とこれから日本で展開する「原発メーカー訴訟」について説明します。(世古)

【原発メーカー訴訟とは】

福島第一原発では今もメルトダウンが終わっていません。その原発メーカーはGE、日立、東芝です。いまや悪名高い「原子力損害の賠償に関する法律」(原賠法)があり、原発事故の責任は「事業者」(この場合は東京電力)に集中して追求され、原発メーカーは責任を問われないことになっています。この訴訟のねらいは

- 1、「原子力損害賠償に関する法律」(原賠法)が違憲・無効であるという判断を最高裁で勝ち取る。
 - 2、これを最初に原発メーカーを免責する法律の無効を主張する訴訟運動を広める。原発のない社会へ
- 原告「原発メーカー訴訟の会」 ●被告 GE、日立、東芝(福島第一の原子炉メーカー)

日時:2013年11月30日(土)午後2時～4時30分

- ・ 会場: ドリームインスティテュート研修スタジオ (TEL:03-5805-1505)
〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-3 本郷UCビル6F
- ・ 参加費: 1000円(資料代)
- ・ 定員: 30名
- ・ 講師 崔勝久さん(NNAA-J事務局長)「韓国脱核ツアーの報告～WCC会議と韓国の原発現地の報告」
- ・ 講師 島昭宏さん(弁護士)「原発メーカー訴訟について」
- ・ 講師・コメンテーター 土田修(東京新聞編集委員。共働 e-news 共同代表)
- ・ コーディネーター 世古一穂(NPO研修・情報センター代表理事。共働 e-news 共同代表)
- ・ 内容 ① オリエンテーション ② 韓国脱核ツアーの報告～WCC会議と韓国の原発現地の報告
③ 「原発メーカー訴訟」について ④ 質疑応答

■参加お申込み方法(できるだけ事前申込みをお願いします。当日参加もOKです)

メール(ticn@mui.biglobe.ne.jp)またはFAX(042-208-3320)でお申込み下さい。

- 1、お名前() 2、携帯電話(緊急連絡先)()
3、所属() 4、FAXまたはE-mail()

○フォーラム終了後交流会を予定しています。参加の可否をお知らせ下さい。参加する() 参加しない()

■会場ドリームインスティテュートへのアクセス(<http://www.dream-institute.co.jp/>を参照下さい。)

- ① 都営大江戸線 本郷三丁目駅 5番出口より徒歩約1分
- ② 東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅より徒歩3分
- ③ 丸の内線 本郷3丁目駅改札口(1つです)を出て本郷通り方面(右手)へ進みます。突き当たりを左折し直進すると、本郷3丁目交差点があります。和菓子屋三原堂とファミリーマートがある側へ渡り 右に進み、みずほ銀行と三菱UFJ銀行の間の道を入り、直進します。不二光学ビルの隣の、植木があるビルが本郷UCビルです。

■主催: 特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~TRC/>)
共働 e-news」(<http://www.kyoudou-e-news.jp>)

■共催: 「ドリームインスティテュート」「知研フォーラム」

■後援 「マガジン9」